

神を畏れることを学ぶ

(マタイ18・15〜20)

一、十分に整えられてから

15節前半に「また、もしあなたの兄弟があなたに対して罪を犯したなら、行って二人だけのところで指摘しなさい。」とあります。主イエスは教会のことを語っておられます。と言つことは、

「兄弟」は「教会員」のことです。また、「あなたに対して」と語られている「あなた」も、教会員の一人です。これは、教会の中に起きた問題の場合です。その場合、教会員が教会員に指摘するのは、なかなか難しいことです。アメリカでも同じかと思えます。フィリピンでも、台湾でも、韓国でも、おそらく同じです。私は、こう考えます。兄弟が罪を犯して、それを指摘するのは、信仰が未熟な教会員か、信仰が深い教会員かのどちらかであると。信仰が未熟な教会員と語ったのは、自分が未熟であることが分からないからです。ですが、教会生活を続けると「こんなにつまらない人間を主が救ってくださった」と知るようになります。こうして、相手が主の前に悔い改め(方向転換)をする前から、赦し受け入れるという姿勢になります。すなわち十分に整えられてから、15節の聖句を実行できるようになるも

のと思えます。また、もしあなたの兄弟があなたに対して罪を犯したなら、行って二人だけのところで指摘しなさい。その人があなたの言うことを聞き入れるなら、あなたは自分の兄弟を得たこととなります。」と。

二、聞き入れられない場合

ですが、こちら側が霊的に整えられて語ったと思っても、語った側の願いどおりにはならないこともあるものです。すなわち、「〇〇さんがされたことは、主のみ(ころ)から外れている。御霊が悲しんでおられる。あの点を改めたら祝福されるのになあ」と確信して語った場合です。相手がどのように反応するか、語る側は分からないものです。もっともそれが、人間が人間たるゆえんでもあります。もし聞き入れられなかった場合はどうしたらよいでしょうか。16節を見てまいります。「もし聞き入れられないなら、ほかに一人か二人、一緒に連れて行きなさい。二人または三人の証人の証言によって、すべてのことが立証されるようにするためです。」とあります。「ほかに一人か二人、一緒に連れて行きなさい」とありますが、何をするのでしょうか。次の17節の冒頭に「それでもなお、言うことを聞き入れないなら」とありますから、複数名で罪を犯している教会員に過ちを指摘することになります。ちなみに、「ほかに

一人か二人」とは、信頼できる教会員、という意味でしょうか。教会には、主イエス・キリストを信じていて、信頼できる教会員がいるものです。もちろん教会の規模が小さくて、何十年経っても開拓状況教会である場合もあるでしょう。あるいは、教会員が不安定な方ばかりで、共に責任ある務めをお願いできない場合もあることでしょう。そういう場合は、15節の指摘から17節に飛ぶこととなります。

17節を見てまいります。「それでもなお、言うことを聞き入れないなら、教会に伝えなさい。教会の言うことさえも聞き入れないなら、彼を異邦人のように扱いなさい。」とあります。この場合の「教会」とは、教会員全員という意味ではなく、今日の教会おける「責任役員」、ないしは「長老会」に当たるとあります。なお、「教会の言うことさえも聞き入れないなら、彼を異邦人か取税人のように扱いなさい。」は、「排除しなさい」の意味ではなく、「教会外の人のように扱いなさい。接しなさい」の意味で受け取られたらよろしいかと思えます。

三、神を畏れることを学ぶ

私たちは、イエス・キリストを知って、神を畏れ敬う者です。そこには様々な思いが凝縮されています。神を畏れかこむ、神を愛し、神に信頼する、神に

真実を尽くす等々です。こういう思いは、主の恵みによってもたらされます。さて、18節を見てまいります。「まことに、あなたがたに言います。何でもあなたがたが地上でつなぐことは天でも解くことが地上で解くことは天でも解かれます。」と、主はおっしゃいました。「地上でつなぐ」とか「地上で解く」は分かりにくいことばですが、これは「フビ」という、ユダヤ教の教師が使っていた表現です。「つなぐ」は「禁ずる」の意味、「解く」は「許す」の意味であると覚えるしかありません。すなわち、「何でもあなたがたが地上で禁ずることは天でも禁じられ、何でもあなたがたが地上で許すことは天でも許されます」の意味になります。

だれに対して、主イエスは語られたのでしょうか。神を畏れる教会に向かっています。ものすごく大きな権威が教会に与えられていると受け取ることもできます。現に、そのように受け止めている方もおられます。ですが「天でもつなぐれ」は、未来の完了を意味していますので、「天でもつなぐれ」の意味になります。また「天でも解かれます」も未来の完了なので、「天でも解かれていますであろう」の意味になります。したがって、教会の決定を、すなわち神が追認するのではなく、すでに天においてなされた決定を教会が伝えるという意味合いになります。